

農林大学校の動き(R3年11月)

2021. 12. 16

島根県立農林大学校（担当：教務 三宅）

TEL:0854-85-7012 FAX:0854-85-7113

<https://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>

◇◇農林大の学生達の日頃の活動状況、いろいろな行事などを簡単にご紹介します◇◇

※新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じた上で、できることを取り組んでいます。



○果樹専攻が美味しまね認証ゴールド定期監査を受検(11/8)

農業科果樹専攻では、シャインマスカットについて令和2年3月17日に認証取得する一方、団体認証(大田市ぶどう生産組合)にも参画してGAPに取り組んでいる。今年度の定期監査を受検するに当たり、延べ6日間に渡り、認証制度の学習、適合基準に係る自己点検を2年生を中心に全員で行い、就農に向けた学びの一環として理解を深めた。



○飯南キャンパスで車両系建設機械運転技能講習を実施(11/8~11)

林業科1年生および早期養成コースの学生19名、農業科16名が受講。ドラグショベルとトラクタショベルの学科・実技を行い、講習を修了した。



○出雲農林高校の学生が農林大で体験研修(11/17)

植物科学科2年生40名を受入。本校農業科の各専攻で施設見学、概要説明及び栽培についての質疑応答などを行った。



○「農林大公開日」を開催(11/20)

農林大の秋のイベントとして地域の方々に定着していた「農林大市場」は、コロナ禍で開催中止となったが、課業の一環として関係機関職員を招待し、本校のPRを目的としたイベントを「農林大公開日」として開催。

県内農林高校職員、JA職員、県庁・地方機関農林職員を招き、専攻別ほ場や施設案内、販売実習を行い、学生と専攻スタッフがそれぞれ専攻の魅力のPRした。



○VRを活用したぶどうの剪定研修会を開催(11/26)

果樹専攻でVRを活用したぶどうの剪定研修会を開催。このVRシステムは、出雲市が開発中のもので、今回、農大生の中に出雲市で就農を目指す学生がいることから、操作性を評価するモニターとして、学生と教員が参加。VRメガネでは実際のぶどう樹が目の前にあるような感覚で模擬せん定ができるため、大変わかりやすい実習になり、研修会後には、実際のぶどう樹の剪定も行い、研修会を振り返ることができた。



○秋季スポーツ交流会を開催(11/30)

自治会主催のスポーツ交流会を実施。今回の種目はバレーボールと卓球で、農業科と林業科の1・2年生、林業科早期養成コースの学生、農林大職員が参加し交流を深めた。

・。*皆様のご意見、ご感想をお待ちしております！*。・